

地域で安全・安心なまちづくりを目指して

●問合先 市役所交通防災課 交通・防災G 内線 138

市役所職員を名乗った還付金詐欺に注意!!

市内において、市役所職員を名乗った還付金詐欺が発生しています。

手口は、電話で市役所職員を名乗り、「税金や医療費、保険金の還付があります。払い過ぎたお金を返還します。」と銀行の現金自動預払機（ＡＴＭ）に誘導し、言葉巧みにＡＴＭを操作させ、犯人の口座に振り込ませようとするものです。市役所職員が、還付金受け取りのためにＡＴＭの操作を求めることは絶対にありません！「携帯電話を持ってＡＴＭへ」は、還付金詐欺です!!

息子や警察官をかたる詐欺や架空請求、義援金詐欺などが依然として多く発生しています。

少しでも不審な電話だと思ったら、落ち着いて、かけ直すなどで電話を切り、最寄りの警察に相談しましょう。

守谷地区交番 ☎ 0297-46-0110

取手警察署 ☎ 0297-77-0110

自転車の放置はやめましょう!!

守谷・新守谷・南守谷駅の駅周辺において、自転車や原付バイクの放置が目立ちます。駅周辺は「自転車等放置整理区域」に指定されており、自転車などの放置が禁止されている区域です。「駅に近いから」「ちょっとだけだから」「他の人も停めているから」などという軽い気持ちで放置をすると、歩行者や駅利用者への迷惑、景観的な問題、自転車の盗難誘発問題などはもちろんのこと、点字ブロックなどを利用する方の妨げとなります。

放置自転車をなくすには、自転車を利用する方一人一人のモラルと心掛けが大切です。自分は良くて「他人に大きな迷惑を掛けている」ということを忘れず、駅利用の際は、駐輪場を利用しましょう!

*「自転車等放置整理区域」内に放置されている自転車は、条例に基づき撤去し、移動・保管料として次の金額を請求します。

自転車 2,000 円 原付バイク 3,000 円

守谷市の交通事故発生状況（5月）

件数 14 件

死者数 1 人

負傷者数 17 人

取手市医師会健康教室

深部静脈血栓症・肺塞栓症について

深部静脈血栓症・肺塞栓症はエコノミークラス症候群あるいはロングフライト血栓症とも呼ばれており、飛行機内などで長時間同じ姿勢を取り続けて発症することがよく知られています。静脈内で血液が停滞すると、血液の塊（血栓）ができてしまいます。これが深部静脈血栓症です。そして、歩き始めた時に、その血栓が血流に乗って肺に飛んでしまうことがあります。これが肺塞栓症です。

一般的な予防法として、厚生労働省ホームページでは以下のように勧めています。

- ・長時間同じ（特に車中などでの窮屈な）姿勢でないようにしましょう。
- ・足や足の指の運動をしましょう。
- ・適切な水分補給を行いましょう。

深部静脈血栓症は長時間にわたる安静の場合や、手術後などにも起こります。足の骨折、アキレス腱断裂などで、ギブスにより運動が制限されている場合にも起こります。特に高齢の方に多い大腿骨近位部（太ももの骨の付け根）の骨折では高頻度で発生するといわれています。

血栓が肺に飛んでも、小さいものであれば自覚症状を伴わないで経過してしまう場合も多くあります。しかし、大きな血栓が肺に飛ぶと、肺の血管が広い範囲で詰まるため、血液中に酸素を取り込むことができなくなり、短時間で生命に危険が及ぶ可能性があります。

深部静脈の中核側に、大きくて飛びそうな血栓が浮遊している場合は、肺に飛ぶのを予防するために下大静脈にフィルターを挿入し予防する場合もあります。

当会の調査では、転倒してから2日以上安静に経過すると、大きな血栓が存在する率が上昇することがわかりました。安静は血栓形成のリスクを高めますので、高齢の方が転倒して歩けない場合には、早めの医療機関での受診をお願いします。